



見海
に行
か。

——という被害も
伴ったが、研究のため
巨人の一部を持ち帰る
ことにも成功した

成果はあったと
私は考えている

次回壁外調査の
日程は未定だが
そう遠くはない

東の間の休息と
なるだろうが
各自家族の元へ帰り
英気を養ってほしい

ご苦労だった

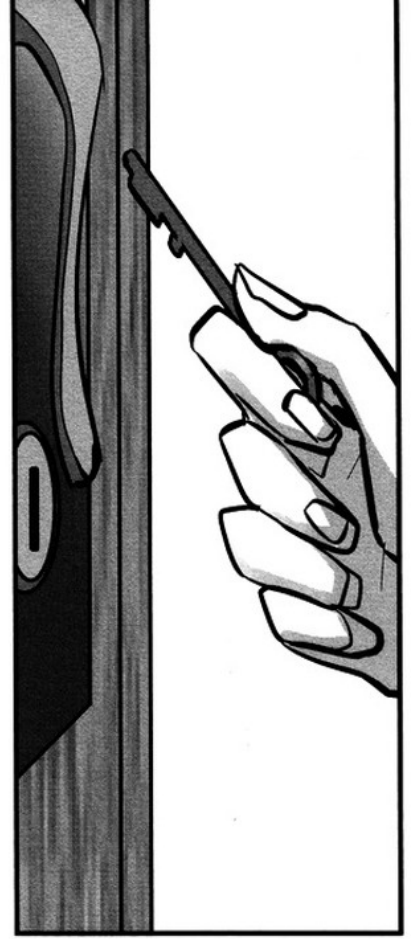
はっ


.....




海を見に行こう。







取り敢えず今回も
生きて帰ってきた。

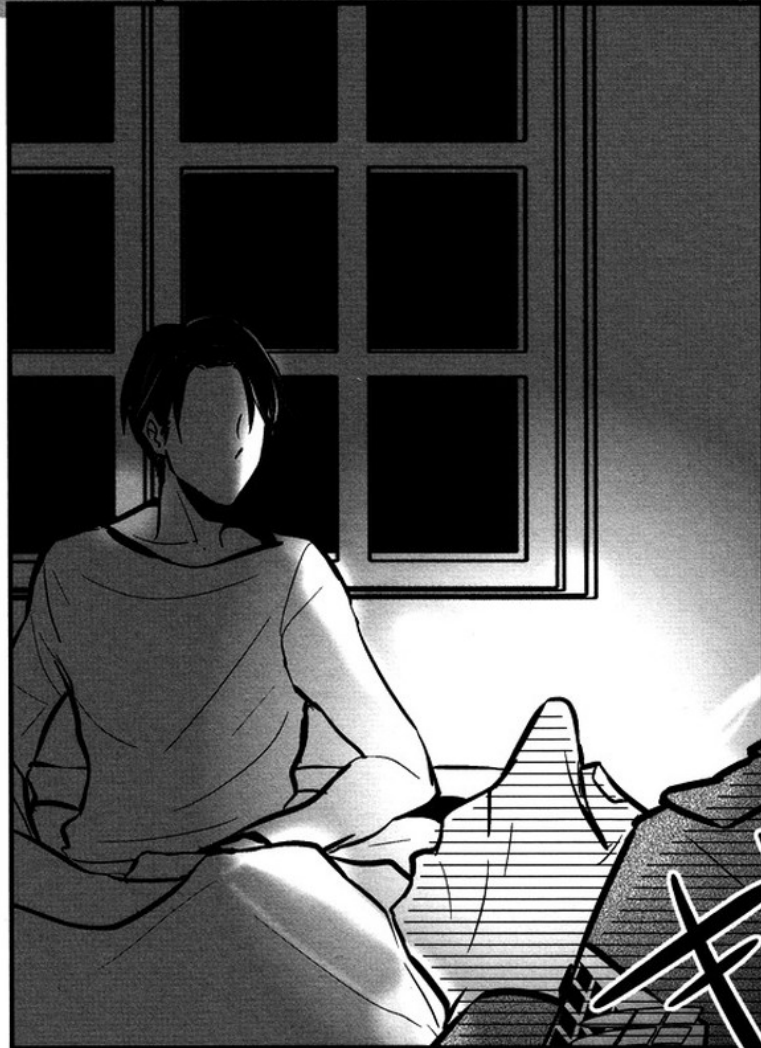


それでも何人か
死んだ

—慣れることは
ないだろう

…当然だけどな…

………



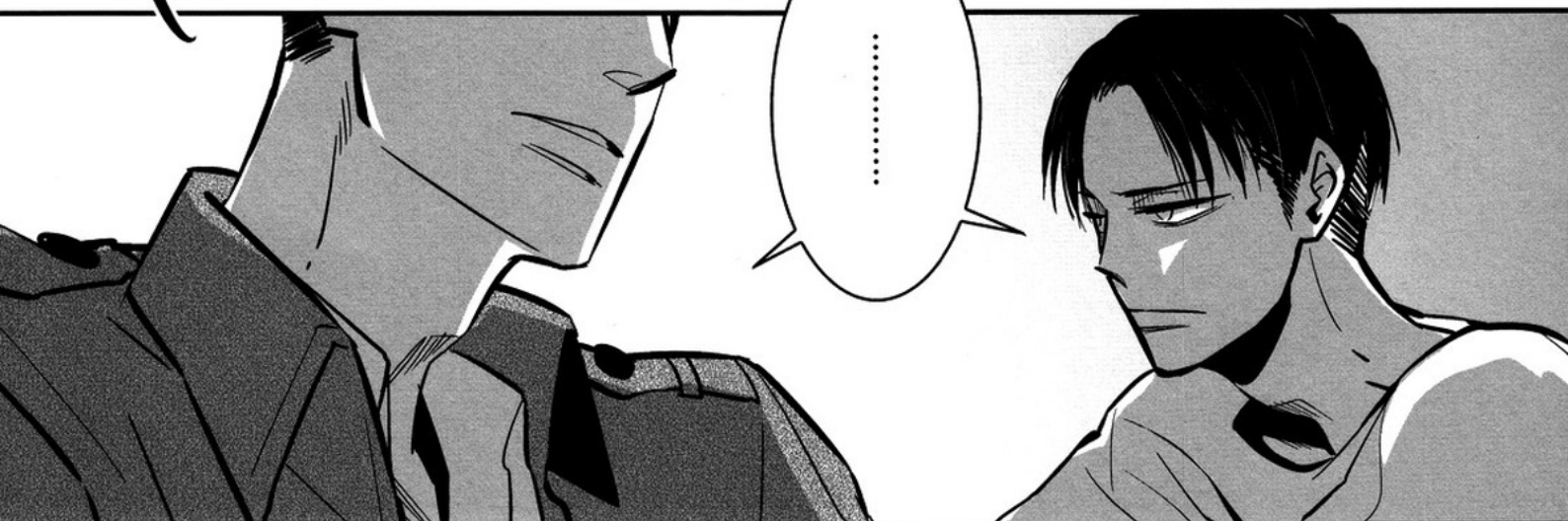


……必要に
なったら揃える

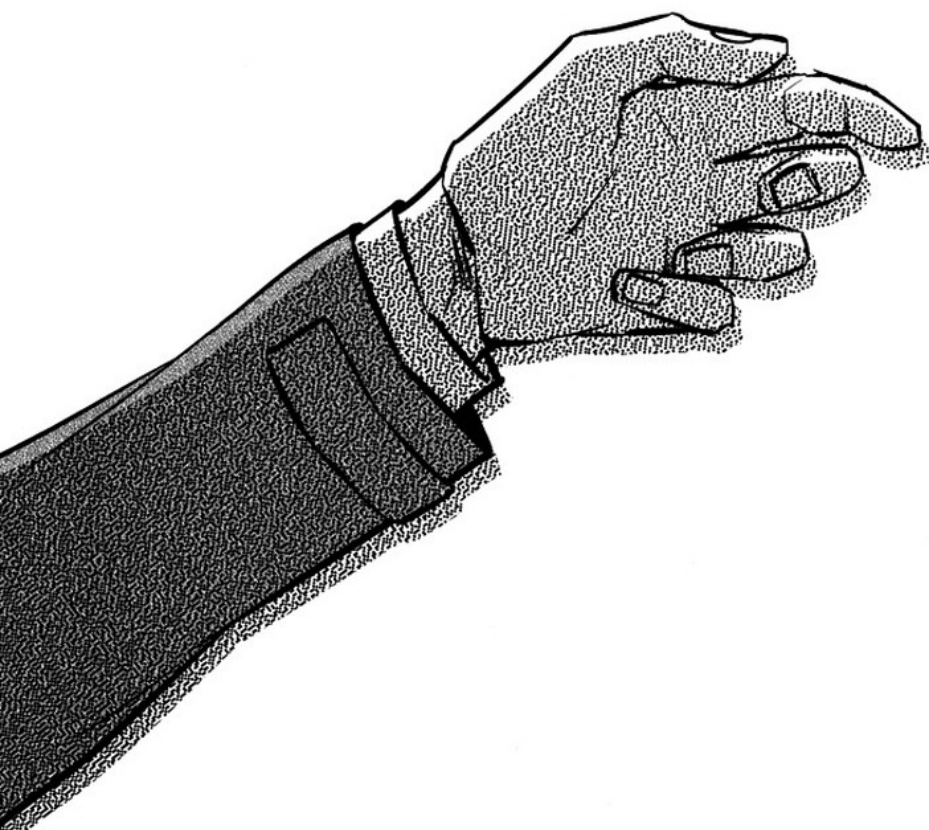
まあな

政府から充分な
援助と支給を
受けてるだろう？

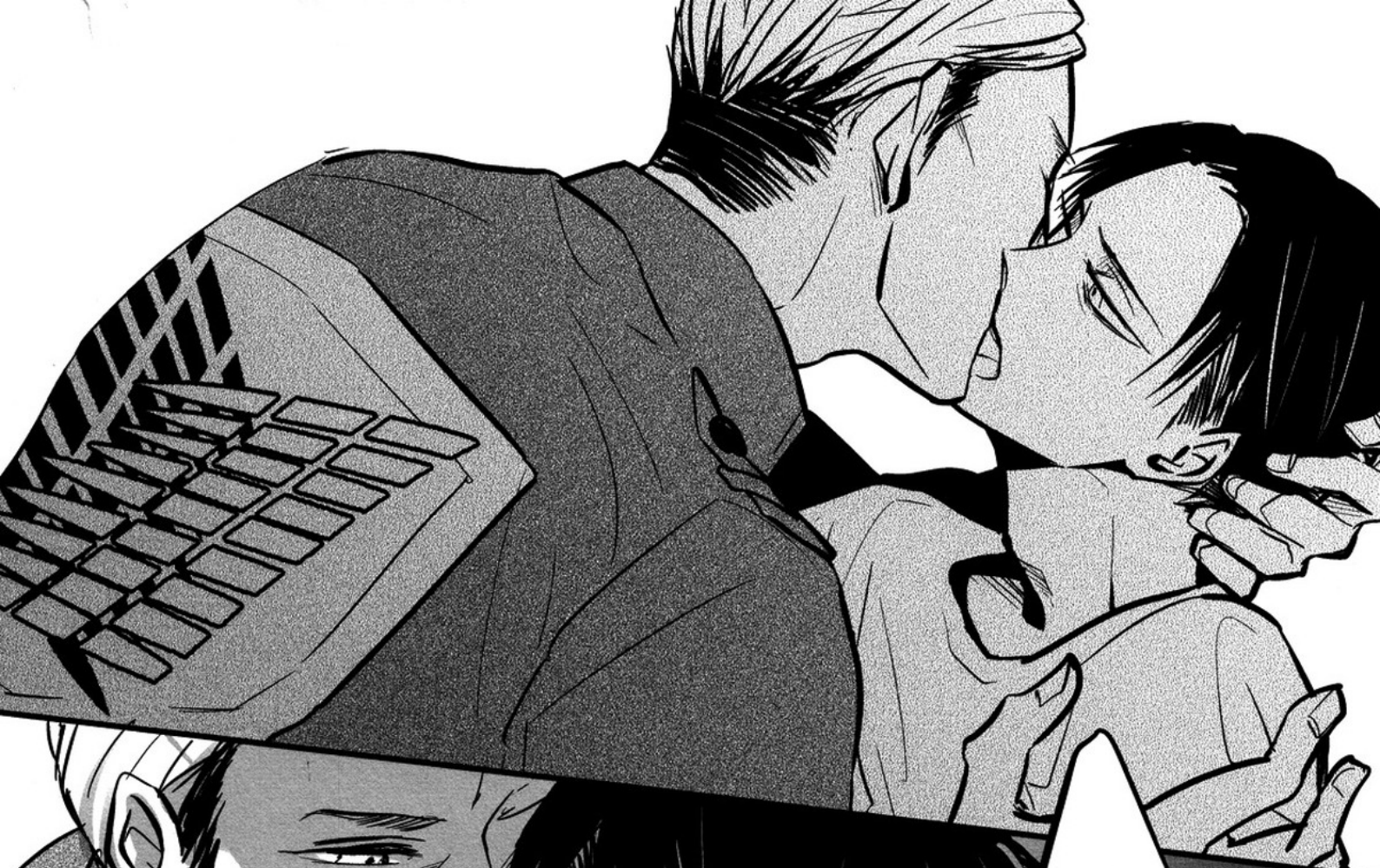
そうか？



……



……
リヴァイ



んっ…



んっ……



うっん...

がっつき過ぎだろ...

んっ...

44

...?



...がつついているのはどっちだ...

...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



……大丈夫か？

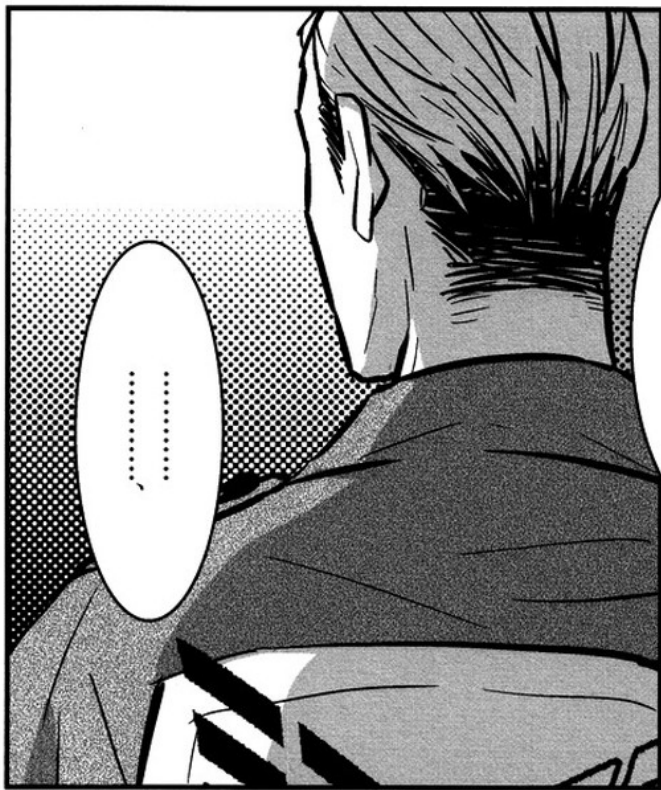
何がだ。

いや……
返り血すら
嫌がるのに

あんなの
血じゃねーだろ
化け物の体液だ

もぞ

もぞ



……



それに、

……お前のだったら
何だっていい……



……何が？

……いや、
何と言うか……

……しないのか



.....
うん。

.....

.....
うん



正直、
ヤバかったことは
何度かあった
最初から戦い方が
わかってた訳でもない
一瞬だけひやりと
することはあった

けど、多分そんなのより
一番あの世に近づくのは
この瞬間だ



大丈夫か？

……ア、

痛かったら
言え。



……

……

……

痛い。
止めろ。
そんなところ噛むな。
食い千切られたら
死んじゃまう。



いいから、

……



あっ...



...あつぱり、
ごちか、

あ？

んあつ...

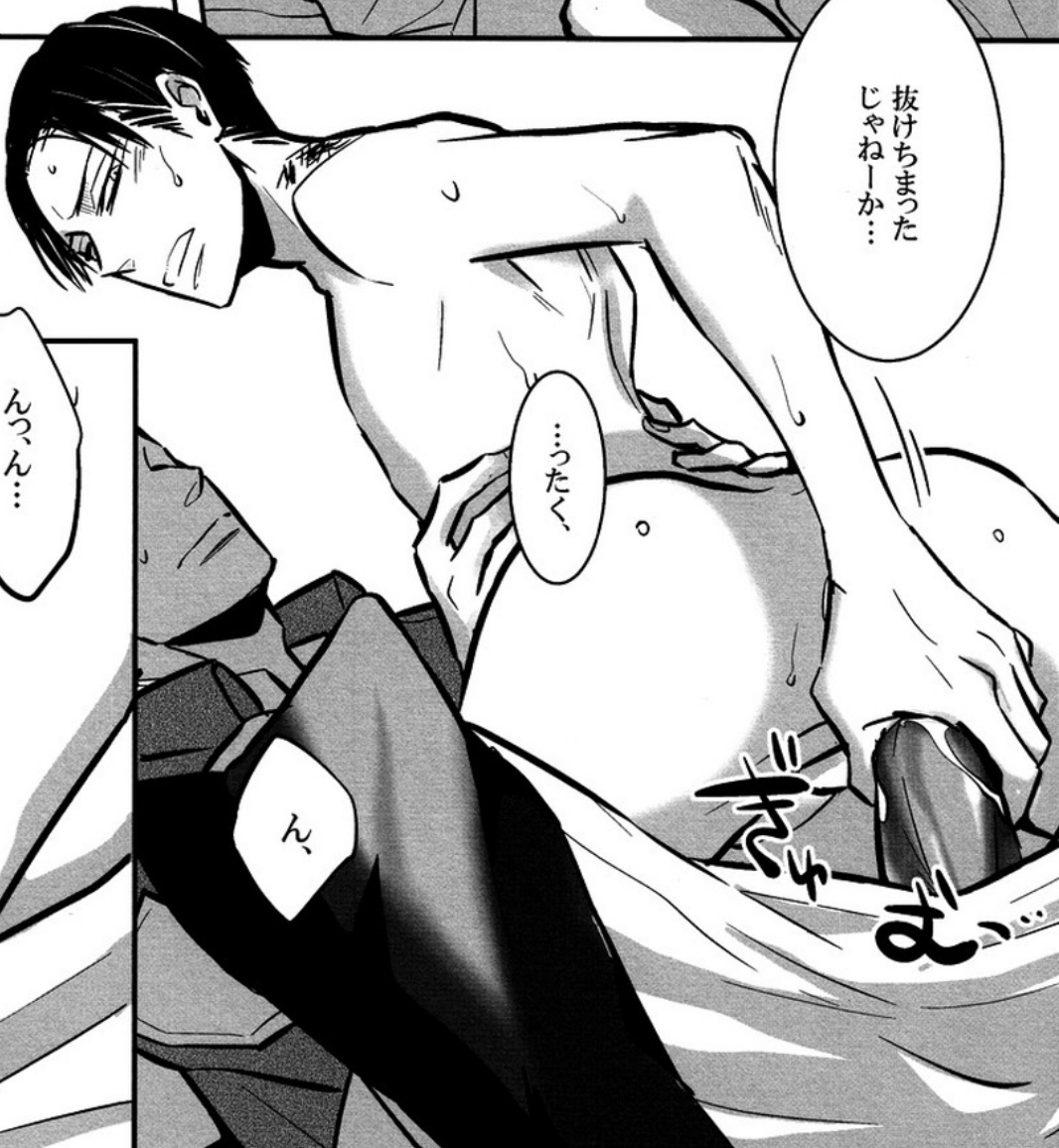


どうせ
我慢するなら

お前の
つらそうな
顔が見たい

…相変わらず、

変態だな
お前



抜けしまった
じゃねーか…

…うたく



んっん…

ん…



んっ

んっ...



.....
どうした...?



この井井じゃ...

.....
死にそうだ...



.....

アッ

んっ

夜に目が慣れてくる
何の音もしない

あの壁の向こう側では
愚鈍な化け物が
逍遙してるなんて
信じられないくらい

何の音もしない
自分がいることすら
わからなくなるほどの
無音

地下街にいたときも
英雄呼ばわりされる
ようになっても
変わらない

はず
だったのに

…
重い。

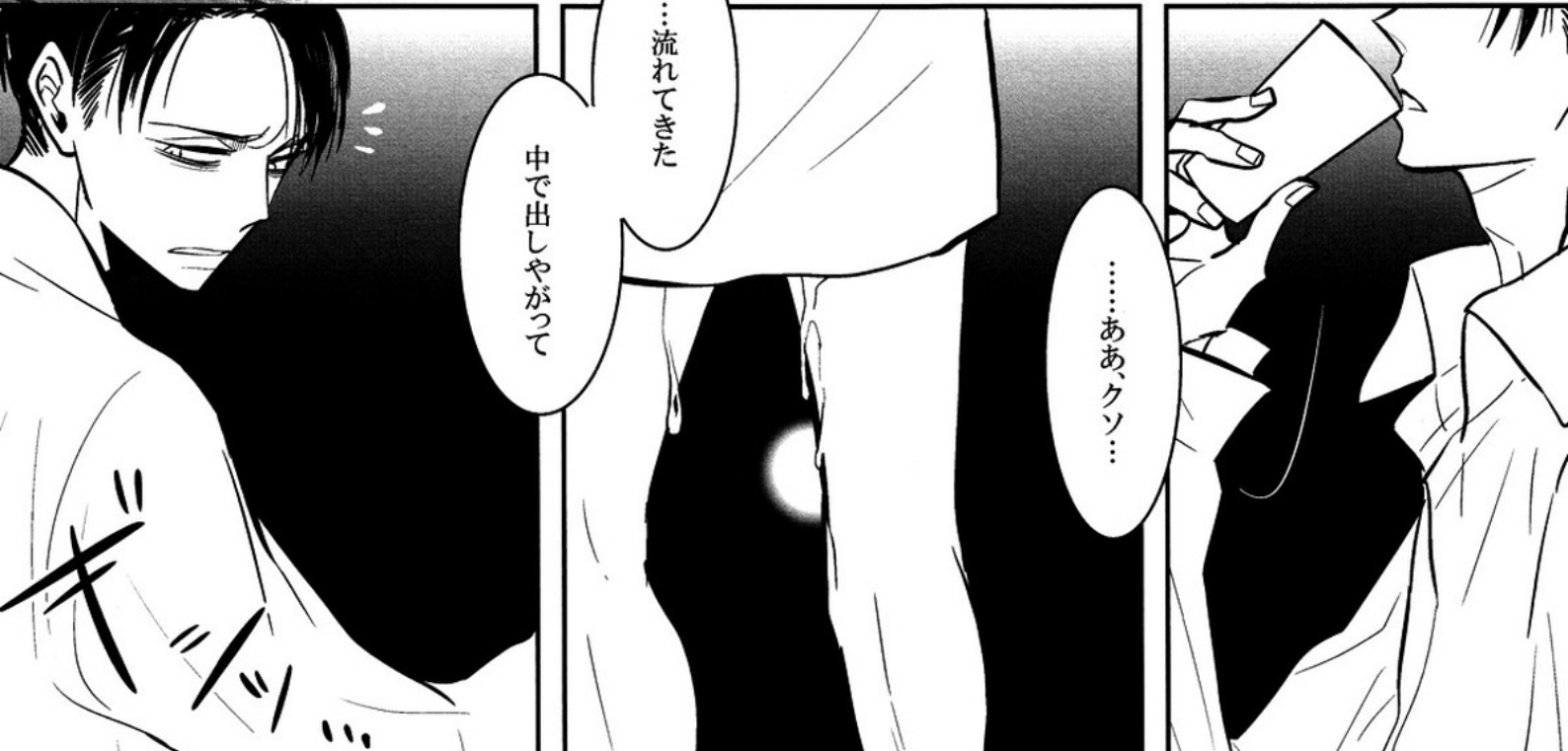


.....

俺からしたら
お前が既に
ちよつとした
巨人なんだが...

↑160cm 65kg

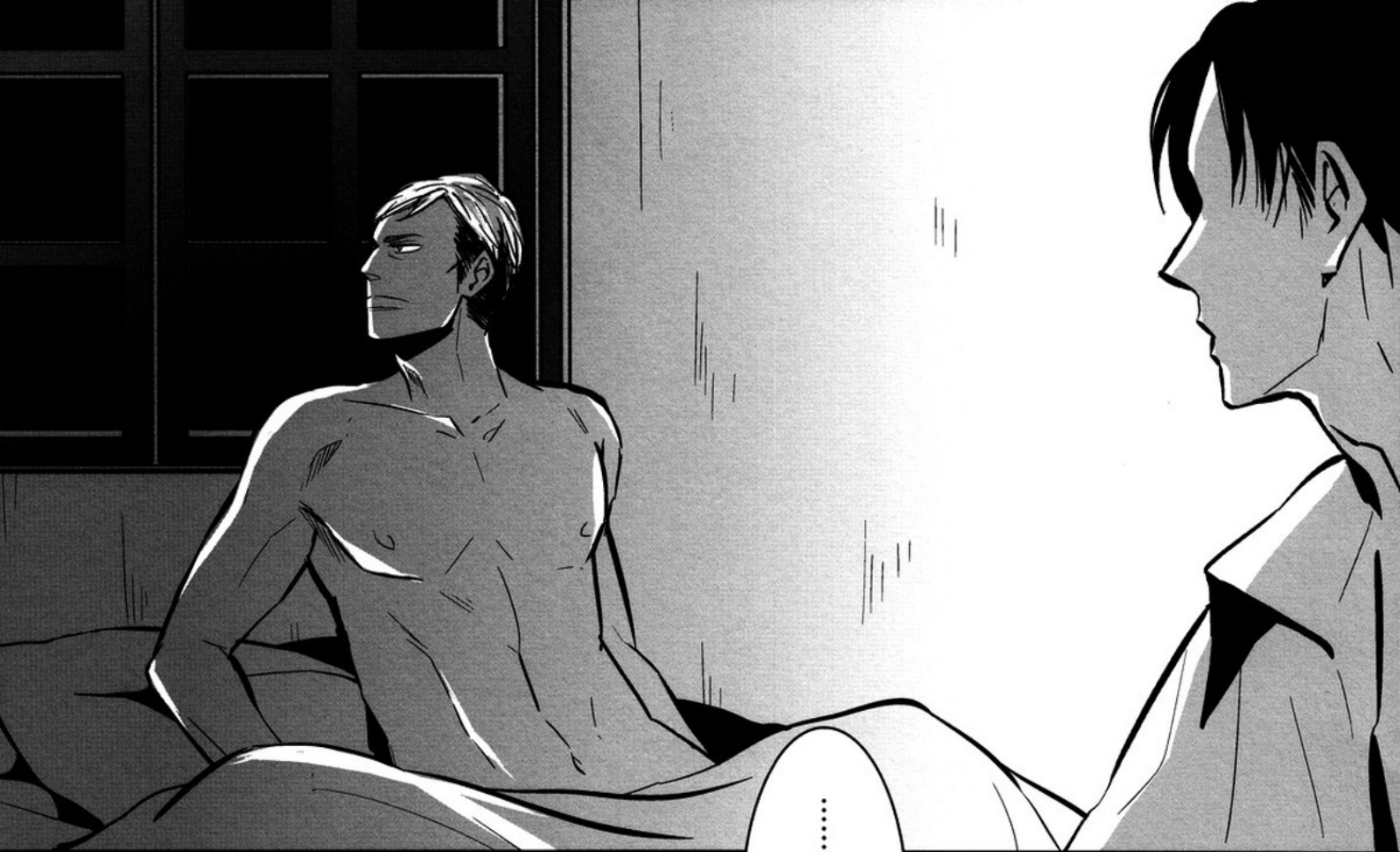
↑188cm 92kg



...流れてきた

中で出しやがって

.....ああ、クソ...



……起きたのか



ん？
ああ、

…何
見てるんだ

いい加減
見慣れた光景なのに
当たり前で
そこにいるのが
当たり前すぎて
不思議な気がしてくる

……外を、





物で釣って
どうする

女口説いてる
んじゃないんだ



欲しいものは
ないのか

したいことは
ないのか

女でも男でも
同じことだろうか？

してほしいことは



見たいものは

食べたいものは

目を閉じると

行きたい場所は

暗闇で
無音だった

なのに今は
お前の声が、
気配がする

んっ……

……ア、

っふあ…

んっふ、

くっくっ

…なあ、
もう一回
してくれ


……ああ、

金の髪が
暗闇に鈍く
浮かび上がる


大きくて重い身体に
押し掛かっている

ようやく
自分の輪郭が
はっきりとしてくる


……ん、



今
したいじゃ
これだ



見たいのは
普段からは考えられない
お前の余裕のない顔



食べたいのは
お前の身体

行きたいのは



アムステルダム
同様に思っていた

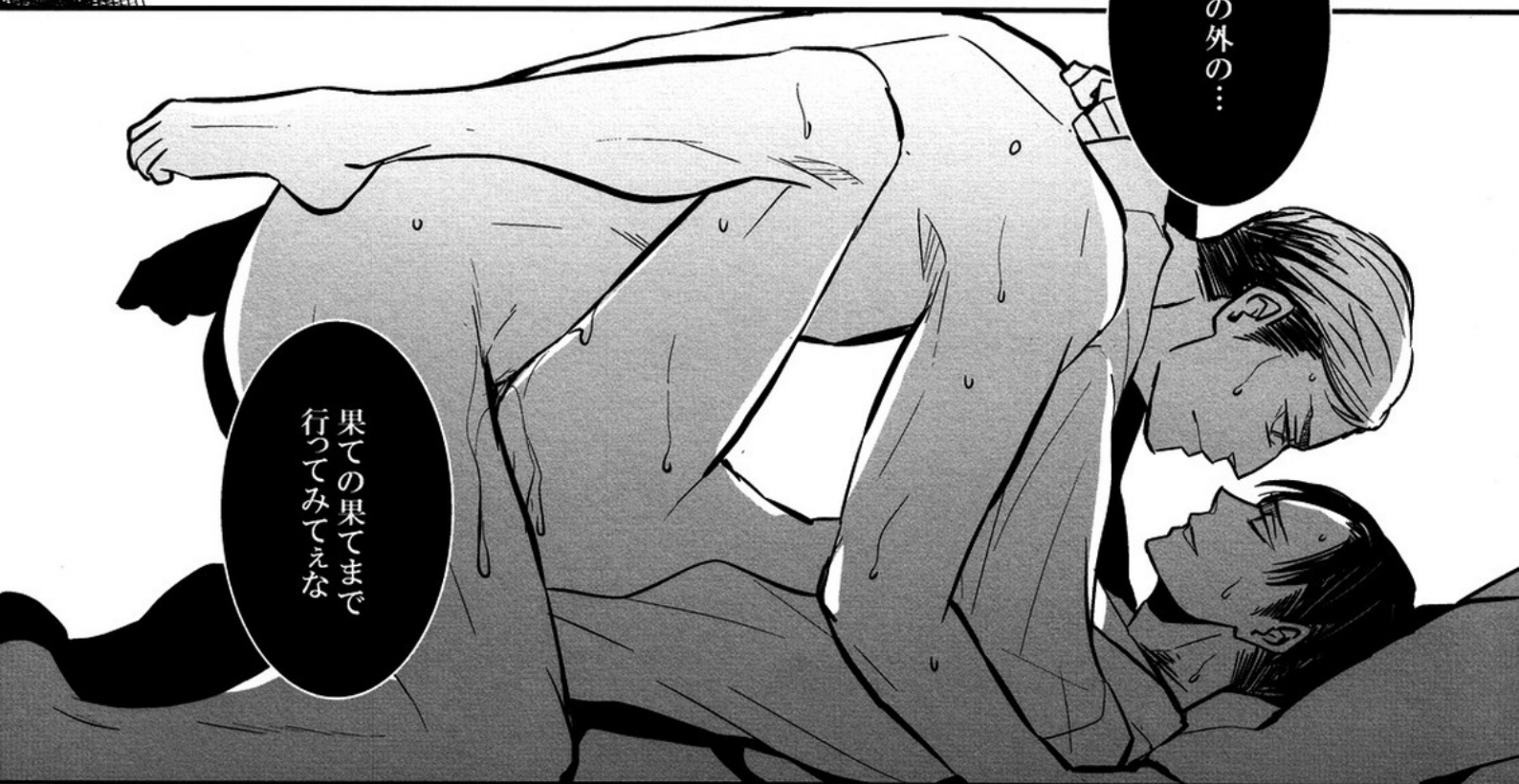
薄汚い地下街にいても
奇怪な巨人の
死骸の上にも
質素な部屋のベッドにいても

……なあ

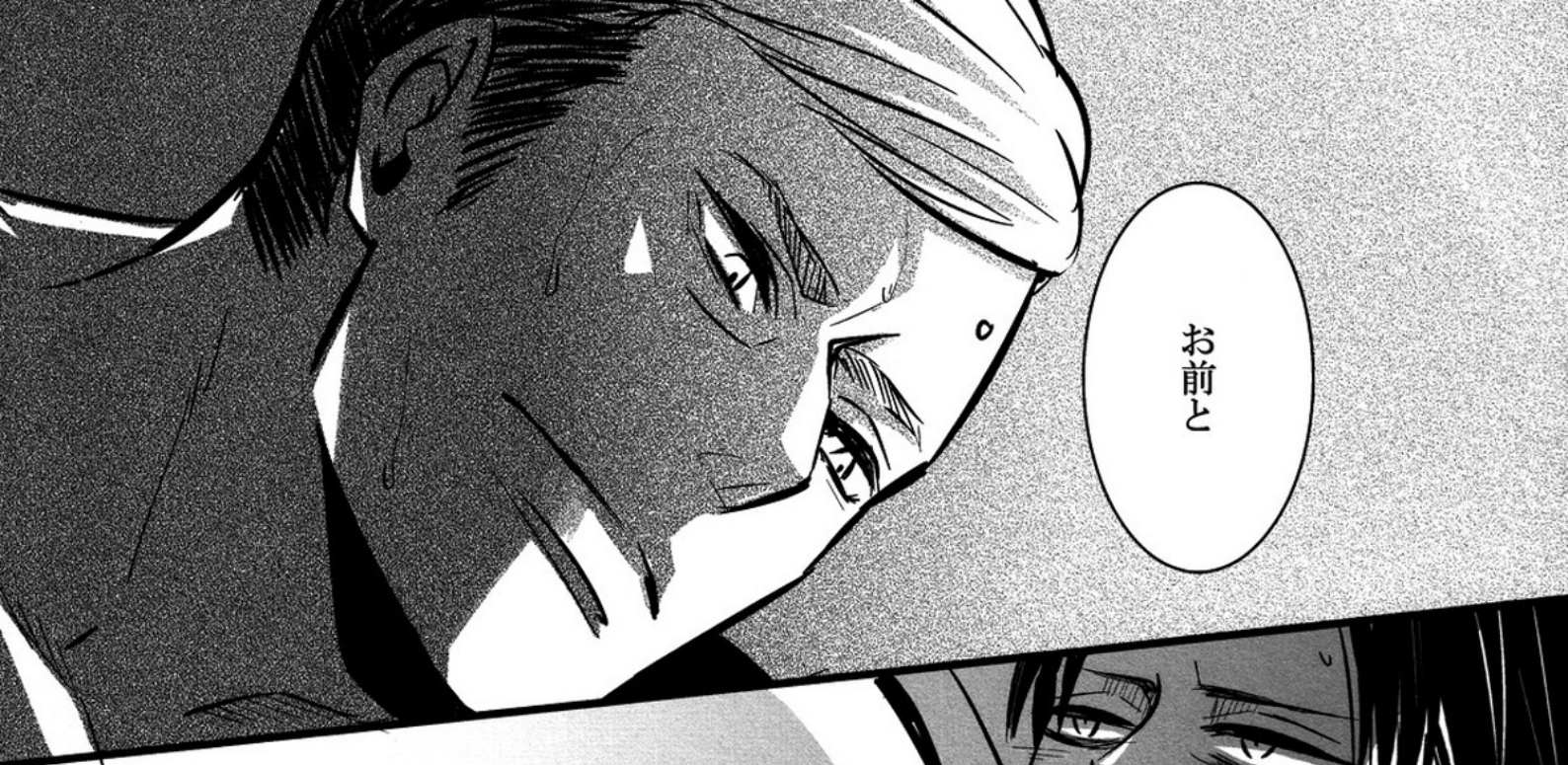


外に

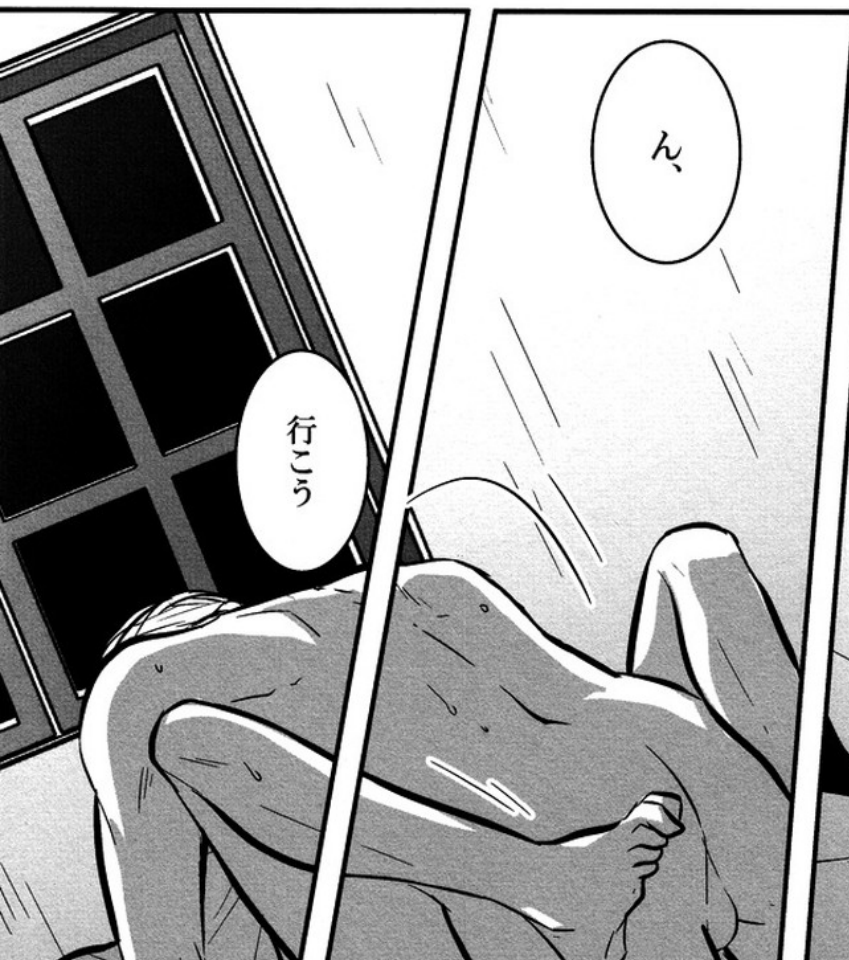
城壁の外の…



果ての果てまで
行ってみてえな



お前と



行こう

ん



……駄目か？

いや、
そうじゃなくて
……そうだな

…行ってみたら
何があるんだろうな

…ああ、
多分、海が

……
……

…知らないか？

いや、
お前の家の文献で
読んだことがある

そうか

.....

なあ、
いつか一緒に

どこでもいらんだ、
この世の果てでも。

お前がいれば

海を見に行こう。



はじめましてこんにちは。芥と申します。
エルヴィン×リヴァイが好き過ぎて
このふたりの行く末を考えると
涙が出てくる始末なんですが、
せめて東の間の幸せを…
とって描きました。
でもいつもこんな陰鬱リカルHOMOを
描いてる訳ではないので
次はラッキースケベとか描きたいです。

【海を見に行こう。】

presented by acta 2013/05/03

print@(株)栄光様

e-mail;acta_r@yahoo.co.jp

pixivID;914212



謹んで兵長に心臓を捧げます。

presented by acta
R-18 for Adult only